

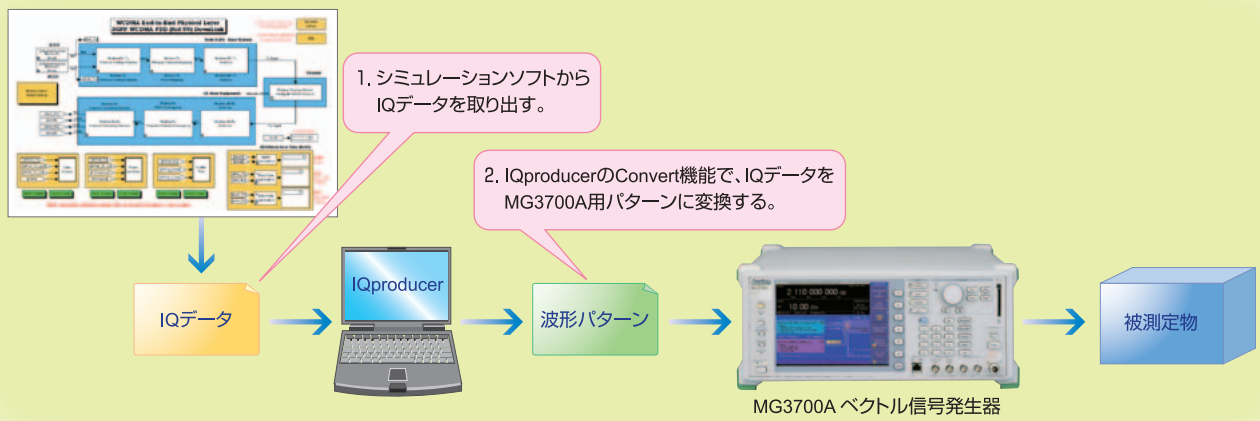
シミュレータ向け測定器の提案

MG3700A ベクトル信号発生器

MS2690A/91A/92A シグナルアナライザ

受信特性評価に

- 今お使いのシミュレーションソフトからIQデータを取り出し、シミュレーションと同じ信号で実機評価ができます。
- IQproducerのConvert機能は、無償で使用できます。

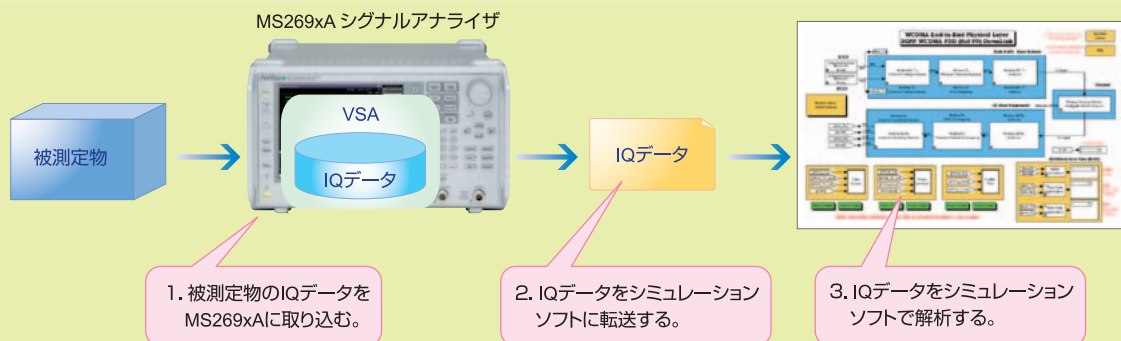


詳しい資料は… <http://www.anritsu.com/ja-JP/Downloads/ApplicationNotes/ApplicationNote/DWL6299.aspx>
アプリケーションノート「MG3700A MATLAB アプリケーションノート」

<http://www.anritsu.com/ja-JP/Downloads/ProductIntroductions/ProductIntroduction/DWL6312.aspx>
紹介資料「MG3700A ベクトル信号発生器 (任意波形発生機能)」

送信特性評価に

- 周波数6GHz、帯域幅125MHz(標準31.25MHz)のRF信号をバイナリ形式のIQデータで取り込めます。
- デジタイズ機能でIQデータを取り込み、今お使いのシミュレーションソフトで解析できます。



詳しい資料は… <http://www.anritsu.com/ja-JP/Downloads/ApplicationNotes/ApplicationNote/DWL6426.aspx>
アプリケーションノート「MS269xA デジタイズ機能のご紹介」

MG3700A ベクトル信号発生器のメリット

設備コスト低減、 管理負担軽減	通常、任意波形発生器とアップコンバート用の信号発生器の2台を組み合わせますが、1台で2役をカバーします。そのため、設備コストとスペースを低減でき、さらに管理負担を軽減します。
設備コスト低減	オプションのFading IQproducerでは、フェージング状態の波形パターンを生成できます。再生時間の制約はありますが、高価なフェージングシミュレータが用意できない場合、簡易的評価や事前評価に利用できます。
工数低減	通常、任意波形発生器のIQ出力のディレイ調整が困難ですが、波形パターンを選択するだけのため無駄な操作を省けます。
将来の 設備投資抑制	広帯域ベースバンド発生器 (RF帯域幅120MHz) を標準装備しています。 次世代の通信方式の研究開発まで長く利用できます。

MS269xA シグナルアナライザのメリット

工数低減 (その1)	取り込んだデータをシミュレーションソフトで使いやすくするためのリサンプル機能があるため、シミュレーションソフト側にリサンプルの機能を作る作業を省けます。
工数低減 (その2)	通常、取り込んだデータには誤差が生じますが、これらの誤差を補正したデータを保存するため、シミュレーションソフト側で補正する手間を省きます。
将来の 設備投資抑制	FFT解析帯域幅125MHz (標準31.25MHz) を装備しています。 次世代の通信方式の研究開発まで長く利用できます。

オーダリング・インフォメーション

ご契約にあたっては、形名・記号、品名、数量をご指定ください。
品名は、現品の表記と異なる場合がありますので、ご了承ください。

カテゴリ	形名・記号	品 名	
本体	MG3700A	ベクトル信号発生器 (250kHz～3GHz)	必須
ハードウェアオプション	MG3700A-011 MG3700A-021	上限周波数 6GHz ARBメモリ拡張512Mサンプル	

カテゴリ	形名・記号	品 名	
本体	MS2690A MS2691A MS2692A	シグナル アナライザ (50Hz～6GHz) シグナル アナライザ (50Hz～13.5GHz) シグナル アナライザ (50Hz～26.5GHz)	必須
ハードウェアオプション	MS269xA-020 MS269xA-077 MS269xA-078	ベクトル信号発生器 (125MHz～6GHz) 解析帯域幅拡張 62.5MHz 解析帯域幅拡張 125MHz	MS269xA-077が必要